

話題のインド映画を日本初上映!



映画大国として知られるインド。インディアンムービーウィークでは、南インド映画から日本未公開作品を選び、多様なインド映画を字幕付きで紹介。このたびの開催「パート1」では、タミル語のクライム映画4作品に加え、家父長制とミソジニー（女性嫌悪）を描き、2021年1月のインド公開時に話題になったマラヤーラム語映画を日本初上映。見逃せない5作品を取り揃えました。

グレート・インディアン・キッチン The Great Indian Kitchen

監督: ジョー・ペービ
出演: ニミシャ・サジャヤン
スラージ・ヴェニヤラムード
T・スレーシュ・バーブ
アジタ・V・M
ラマデーヴィ
カバニ

2021年 / マラヤーラム語 / 100分
映倫区分: 申請中
(インドでの区分はG相当)

日本初上映 ドラマ ダンス



©Cinema Cooks, ©Markind Cinemas, ©Symmetry Cinemas

グルメ番組のように始まり、家族制度の暗部に切り込む「ホームドラマ」
ケーララ州北部のカリカットの町で、高位カーストの男女がお見合いで結婚する。夫は由緒ある家柄の出で、伝統的な邸宅に暮らしている。中東育ちでモダンな生活様式に馴染んだ妻は、夫とその両親と同居する。嫁に入るが、台所と寝室で男たちに奉仕するだけの生活に疑問を持ち始める。教育を受けた若い女性が、家父長制とミソジニー（女性嫌悪）に直面して味わうフラストレーションをドキュメンタリータッチで描く。同時に、2018～19年に最高潮だった「シャバリマラ寺院への女性参拝問題」*もサブテーマとして現れ、伝統的ヒンドゥー社会での「穢れ」観にもメスが入る。公開後、多くの議論が巻き起こった話題作。

*同寺院は伝統的に女人禁制を敷いていたが、女性の法曹関係者による訴えが2018年に最高裁で結審し、女性参拝者の排除を違憲とした。

マリー

Maari

監督: パーラージ・モーハン
出演: ダヌシュ
カージャル・アグルワール
ローバー・シャンカル
ヴィジャイ・イエースダース
マイム・ゴビー
カッルリ・ヴィノード

2015年 / タミル語 / 138分
映倫区分: G

コメディ アクション ダンス



©Magic Frames, ©Wunderbar Films

鳩好きマリーの爽やか極道コメディ

チェンナイの下町に住むマリーは、身寄りがなく育った若者。8年ほど前から土地を仕切る極道として皆に恐れられるようになっていく。彼は鳩レースに入れ込んでおり、鳩の前では柔らかな一面も見せる。そんな彼の前に、新しく地区の担当になったアルジュン警部とブティック経営者のシュリーが登場し、波乱が起こる。映画監督コンテスト番組出身のパーラージ・モーハン監督による、ダヌシュ（無職の大卒）主演の極道コメディ。インドでは大ヒットとなり、シリーズ2作目も製作され、こちらも大ヒットした。『無職の大卒』に続く、ダヌシュと人気ミュージシャン、アニルドのコンビネーションは抜群で、爆竹のようにダヌシュが踊るダンスシーンは何度見ても楽しめる。

女神たちよ

Iraivi

監督: カールティク・スッパラージ
出演: S・J・スーリヤー、ヴィジャイ・セードゥパティ、ボビー・シンハー、アンジャリ、カマリニ・ムカルジー、カルナーカラン
2016年 / タミル語 / 158分
映倫区分: G

クライム ロマンス ダンス



©Thinkumaran Entertainment

鬼オスッパラージ監督が描く、悲哀の群像劇

映画監督のアルルと幼なじみのマイケルは、内面に抱える問題のストレスを妻にぶつける日々。アルルの弟ジャガンが古寺の女神像の密売に手を出したことをきっかけに、彼らの運命は思わぬ方向に転がっていく。身勝手な男性に振り回され苦悩する女性たちが、古寺に留め置かれた女神像に重ねて描かれる。原題は「女神」の意。「雨」を重要なモチーフとして使い、女性への敬意に満ちたラストが印象的。

双壁のアリバイ

Thadam

監督: マギル・ティルメーニ
出演: アルン・ヴィジャイ、タニヤー・ホープ、スムルティ・ヴェンカト、ヨーギ・バーブ、ジョージ・マリヤン、ヴィディヤ・ブラディーブ、ソニヤ・アグルワール
2019年 / タミル語 / 131分
映倫区分: G

クライム・スリラー ダンス



©RedmanThe Cinema People

殺人容疑者の男には、確かなアリバイがあった

大雨の夜に静かな住宅街の一軒で起こった殺人事件。犯人を特定できる遺留物は見つからず、被害者の交遊関係にも怪しい人物は見当たらなかった。しかし、同じ夜に隣家の住人が偶然撮影したセルフィーの片隅に、不審な人影が映り込んでいた。土木技師のエリルはその人影と同一人物であるとして拘束される。法の抜け穴をきわどく攻める犯罪スリラー。アルン・ヴィジャイ（サーホー）が一卵性双生児の二役を演じる。

まばたかない瞳 バンガロール連続誘拐殺人 Imaikkaa Nodigal

監督: R・アジャイ・ニヤナムットウ
出演: ナヤンターラ、アタルヴァー・ムラリ、アヌラグ・カシャップ、ラーシー・カンナ／ヴィジャイ・セードゥパティ（特別出演）
2018年 / タミル語 / 168分
映倫区分: PG-12（暴力シーンあり）

クライム・スリラー ダンス



©Cameo Films India, ©Drumsticks Productions

連続殺人犯 vs. 執念の捜査官

バンガロールを震撼させる連続誘拐殺人事件。富裕層の子弟が誘拐され、身代金が払われるにもかかわらず惨殺されるのだ。捜査に当たる中央捜査局のアンジャリは、犯人を自称するルドラという男に肉薄しながらも取り逃がしてしまう。犯人、警察、中央捜査局が三つ巴となつての息詰まる追跡劇。ナヤンターラ（ビギル 勝利のホイッスル）の熱演アクション、異才の映画監督アヌラグ・カシャップの怪演に注目。

開催日程

6.4金～6.24木

※上映スケジュールは、公式サイトおよび劇場ウェブサイトに掲載します。※状況により、予定が変更となる場合があります。予めご了承ください。

料金

1,800円(税込) 均一

※全席指定 / 入替制。
※特別興行のため、各種割引・招待券・株主優待券は、ご使用いただけません。

チケット販売

オンラインチケット予約。
販売日程は決定次第、劇場ウェブサイトにてお知らせいたします。

▶ https://ttcg.jp/cineka_omori/

上映劇場

キネカ大森

JR 京浜東北線 [大森駅] 東口 徒歩3分

東京都品川区南大井 6-27-25 西友大森店 5F

☎ 03-3762-6000 https://ttcg.jp/cineka_omori/



インディアンムービーウィーク

主催: SPACEBOX

公式サイト: imwjapan.com

Twitter: @ImwJapan

